

<実施概要>

1 趣 旨

人格を形成するうえで重要な時期にある中学生が、学校生活や家庭生活などを通じて、日頃考えていることや実践していることを発表することにより、中学生自身が社会性や自主性を培うとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を深める。

2 主 催

豊田市青少年健全育成推進協議会

3 後 援

豊田市・豊田市教育委員会・豊田市PTA連絡協議会・豊田市子ども会育成連絡協議会

4 協 力

豊田市青少年育成アドバイザー会

5 募集対象

豊田市立中学校及び特別支援学校中学部在校生

6 意見文の内容

(1) 社会や世界に向けての意見、将来への希望や提案など

(2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど

(3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会のさまざまなできごとに対する意見や感想、提言など

以上、3つの中のいずれかに該当し、心に思い、考えていることや感じていることなどを、中学生らしい自由でユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの

7 募集期間

平成30年3月6日（火）～平成30年5月8日（火）

8 応募の状況

豊田市立中学校合計28校から7,714点の応募があった。今回は、特別支援学校からの応募はなかった。

9 審査日程

(1) 第1次審査（作品審査）

平成30年5月16日（水）午後6時30分～午後8時

豊田市役所 東53会議室

各中学校から推薦された28名の作品を審査し、10名を選出した。

(2) 第2次審査（意見発表審査）

平成30年6月9日（土）午後1時30分～午後4時30分

豊田市民文化会館 小ホール

第1次審査で選ばれた作品は、第35回豊田市中学生の主張発表大会で、1人5分以内で発表。

優秀賞5名、優良賞5名、共感賞1名、WE LOVE とよた賞1名を選出した。

10 審査基準

第1次審査会（作文審査 平成30年5月16日）

審査項目	観点・留意点	配点
1 論旨・内容	①選んだ主題からはずれていないか	30点
	②中学生らしく清新で建設的であるか	
	③自己体験の中からの自分なりの視点や考えがあるか	
	④矛盾や飛躍はないか	
	⑤理論・知識のみに片寄り過ぎず具体的な主張がされているか	
	⑥対策や実践への意欲が感じられるか	
	⑦中傷・批判になっていないか	
2 表現	①文法的な表現の誤りや誤字・脱字はないか	10点
	②主張・訴えたいこと等、強調点が工夫されているか	
3 発表性	意見発表できる話し言葉になっているか	10点

第2次審査（意見発表 平成30年6月9日）

審査項目	観点・留意点	配点
1 論旨・内容	①選んだ主題からはずれていないか	20点
	②中学生らしく清新で建設的であるか	
	③自己体験の中からの自分なりの視点や考えがあるか	
	④矛盾や飛躍はないか	
	⑤理論・知識のみに片寄り過ぎず具体的な主張がされているか	
	⑥対策や実践への意欲が感じられるか	
	⑦中傷・批判になっていないか	
2 表現・音声・話し方	①発音が明瞭であるか	20点
	②音量や速度が適切であるか	
	③イントネーションが自然であるか	
	④抑揚・間のとり方など強調点が工夫され説得力のある話し方になっているか	
	⑤原稿の棒読みになっていないか	
3 態度	①発表する主張にふさわしく、少年少女らしい品位ある態度か	10点
	②眼のおきどころが聴衆を向いて、自然であるか	
	③過度のジェスチャーがないか	

1.1 審査員（順不同、敬称略）

豊田市立追分小学校	校長	柴田 みどり（審査員長）
愛知県西三河県民事務所	県民安全課	中原 瑞樹
豊田市立童子山小学校	教頭	若山 敏美
豊田市立東山小学校	校務主任	熊谷 等
豊田市教育委員会学校教育課	指導主事	朱山 純子
豊田市PTA連絡協議会	副会長	岡田 裕美
豊田市子ども会育成連絡協議会	上部役員	永治 英之
豊田市青少年健全育成推進協議会	会長	福田 文彦

1.2 審査結果

(1) 大会審査結果 ※学校名の五十音順

審査結果	中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
優秀賞	井郷中学校	3	富田 真亜玖	思いやりは言葉を超える
優秀賞	下山中学校	3	佐藤 美紅	「少しずつでも」
優秀賞	浄水中学校	3	横山 和奏	笑顔
優秀賞	藤岡中学校	3	伊藤 朱里	力を抜いて
優秀賞	保見中学校	3	粕谷 有里	「思いを言葉にのせること」
優良賞	逢妻中学校	3	澤田 歩実	誰かの幸せのために
優良賞	旭中学校	3	原田 優里	「人は環境で変わる」
優良賞	足助中学校	3	高木 透	家族との関わり方
優良賞	小原中学校	3	鈴木 祥悟	「地域の笑顔を守るために」
優良賞	美里中学校	3	花岡 芽育	生きるということ
奨励賞	朝日丘中学校	3年	堀 実篤	命の意味
奨励賞	石野中学校	3年	三宅 佑佳	「できる、できないじゃない」
奨励賞	稲武中学校	3年	柄澤 優香	勇気をもらって
奨励賞	梅坪台中学校	3年	野崎 春太郎	平等とは分けないということ
奨励賞	上郷中学校	3年	加藤 結菜	私にできる「思いやり」
奨励賞	猿投中学校	3年	光田 詩織	差別
奨励賞	猿投台中学校	3年	鈴木 奏菜	「『便利』の使い方」
奨励賞	末野原中学校	3年	山盛 真保心	一人じゃないよ
奨励賞	崇化館中学校	3年	成瀬 彩菜	支えてくれる人へ
奨励賞	高岡中学校	3年	井本 和奏	強い女性
奨励賞	高橋中学校	3年	和田 怜花	「幸せ」を運ぶ
奨励賞	藤岡南中学校	3年	里中 希咲	「忘れてはいけないこと」
奨励賞	豊南中学校	3年	佐々木 菜摘	ボランティアに参加して
奨励賞	前林中学校	3年	石川 心悠	喜怒哀楽と競技かるた
奨励賞	益富中学校	3年	金森 ゆず	弟がくれたもの
奨励賞	松平中学校	3年	山下 翔吏	ポジティブに生きる
奨励賞	竜神中学校	3年	中川 聖理	幸せは自分で決める
奨励賞	若園中学校	3年	酒井 紗雪	「出来る」を知る

(2) 共感賞 (最も共感した作品として来場者の投票により選出)

中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
井郷中学校	3	富田 真亜玖	思いやりは言葉を超える

(3) WE LOVE とよた賞 (豊田市青少年育成アドバイザー会員の投票により選出)

中学校名	学年	中学生氏名	意見文題名
下山中学校	3	佐藤 美紅	「少しずつでも」

※(3)は、協力団体である豊田市青少年育成アドバイザー会から贈呈された。

1.3 有志ボランティア（氏名50音順、敬称略）

前回主張発表者が、有志ボランティアとして、報告書のイラストやキャッチコピーの作成のほか、当日の司会進行などの運営に参加。

高山誠慎・山田紗愛 以上2名

1.4 参考

(1) 少年の主張愛知県大会

豊田市大会で優秀賞を受賞した5名の作品を、西三河地区作文審査会へ推薦した。その結果、豊田市から2名が少年の主張愛知県大会に出場した。

日時 平成30年8月29日（水）午後1時～午後4時30分

会場 碧南市芸術文化ホール

結果 最優秀賞（愛知県知事賞） 井郷中学校 3年 富田 真亜玖
特別賞（碧南市制70周年記念賞） 下山中学校 3年 佐藤 美紅

(2) 少年の主張全国大会

県大会で最優秀賞を受賞した富田さんは、少年の主張全国大会出場候補者として、独立行政法人国立青少年教育振興機構に推薦され、中部・近畿ブロック代表として、全国大会に出場した。

日時 平成30年11月11日（日）午後1時～午後4時

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール

結果 特別賞（審査委員会委員長賞） 井郷中学校 3年 富田 真亜玖